

2023年度大学女性協会
全国セミナー

分科会 《ジェンダー》

改めて問う

女性の政治参画に今、
必要なものは何か

挑戦への一歩を踏み出すために

報告 日向美砂子（東京支部）

2023.10.21



自己紹介

日向 美砂子（ひなた みさこ）

1962年 札幌市生まれ

1984年 大学卒業後金融系企業に勤務

1988年 出版・編集専門学校に1年間通学

以降、編集・校正・ライターとして仕事を続ける

2007～2019年 小平市議会議員（3期12年）45歳～57歳

2019年～ 東京・生活者ネットワーク政策調査室スタッフ

ジェンダー関係の市民活動





政治に関心を持つきっかけ

後から気づくと
「それは政治！」だった

①女性と仕事：就活時のパンフレット
「わが社は男女平等です」

②仕事と子育て：ある女性研究者の言葉
「子育てや生活のための時間はもっと必要。でも、渦中にお母さんたちはそれを言えない。誰かが代弁しないと」

女性議員はなぜ必要か

- * 生活の課題は多様。
- * 議会にはさまざまな声を届けることが必要
- * 特に地方議会では、実際に地域を見ているのは女性が多い。
- * 地域レベルで発見されている課題を解決するためのしくみをつくる国会に女性が少ないのは非効率的

議員のやりがい・おすすめポイント

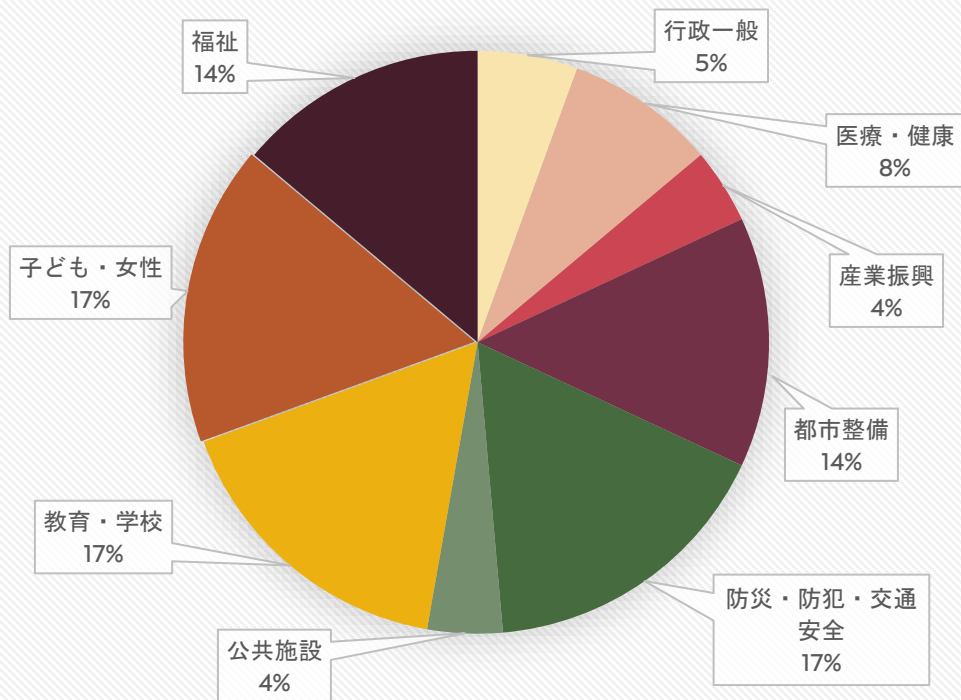
- ① 日頃感じている課題を堂々と政策決定の場で伝えられる。
- ② 市民の声を聞き、既存の制度を踏まえつつ、変革していくための政策提案するプロセスは知的な仕事。
- ③ (地方議員の場合は) なんといいっても職住近接。



議会が多様なら市民生活を反映できる

(小平市議会2019年3月議会 28人6会派女性議員10人)

「生活の課題は多様」は一般質問に反映



挑戦への一歩を踏み出すために

「こうなったらいいな」があれば、それが政治への第一歩

女性の政治参画を阻む壁

* 女性議員へのハラスメント＝闘う仲間はたくさんいます！

* 家族の理解＝社会全体を変えることと両輪で。

* キャリアとの関係＝仕事を辞めなくてもいい制度や続けながらできる議会

* 自分自身の壁＝仲間がいることが何よりの力。





政治をつくるのは議員 だけじゃない

* 「3人集まったら選挙はできる！」の1人へ

* 議員を支えながらともに活動することも大事な政治活動

* 地域活動や社会運動も政治につながる

「ふだん着の政治」を女性たちが地域でつくっていくこと